

2 施策表

☆・・・一次計画を補う取組・新たに盛り込む取組

施策番号				
1				
基本 目標	I 本の楽しさを子どもたちに 一本に親しむ機会の充実ー		対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【1】情報提供			
施策	1 本の情報提供			
効果	子どもや、子どもの読書に関わる人たちが、本の情報を得て、本と出会う。			
主な 取組	●本の情報提供の充実(担当課・関係課) ・関係課と連携して本の情報提供に努める(図書館・関係課) ☆知識の本の情報提供・ティーンズへ向けた本の情報提供を充実する(担当課)(*1) ●リストの作成・改訂(図書館) ●展示の充実(担当課・関係課) ・おはなし会や季節、時事や行政の取組、関心事にあわせた展示を行う(担当課、関係課) ☆ティーンズ向け、配慮が必要な子ども向けの展示を工夫する(担当課・関係課)(*2)			
担当課 及び 施設	図書館・学校	関係課 及び施設	文化スポーツ課・子育て支援課(保育園、幼稚園)・ 子育て総合センター・児童青少年課・児童館・学童ク ラブ・健康推進課・障害福祉課・公民館	ボランティ ア

背景・経緯

- (*1) 「小・中学生アンケート」より、知識の本(読み物以外)を好む子どもが多かったため、知識の本の情報提供を充実する。また、電子媒体や広告で本の情報を得ている中学生が多かったため、ティーンズ向けに図書館ホームページの充実を図り、情報を提供する。
- (*2) 上記アンケートよりティーンズ向けには、視覚的に訴える書架配置や構成を工夫してさらに利用しやすくするとともに、テーマ展示などを行い、親しみやすいコーナーをつくっていく。また、配慮が必要な子どもには、関係課と連携して展示の工夫をし、展示全体の充実を図る。

施策番号			
2			
基本目標	I 本の楽しさを子どもたちに 一本に親しむ機会の充実	対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【1】情報提供		
施策	2 市立図書館・学校図書館のPR、利用指導		
効果	子どもが、主体的・積極的に市立図書館・学校図書館を活用する。 周囲の大人が学校図書館について理解を深める。		
主な取組	市立図書館 ●利用案内・利用指導の継続実施(図書館) ・小学生を対象とした市立図書館の利用案内・来館者への利用指導を継続して行う(図書館) ●図書館のPRの充実(図書館・関係課) ☆ティーンズ、乳幼児及び配慮が必要な子どもへの図書館のPRを充実する(図書館・関係課)(*1) 学校図書館 ●子どもへの利用指導・資料の使い方指導の充実(学校) ●学校図書館のPRの充実(学校)(*2) 市立図書館・学校図書館 ●市立図書館を活用する指導の実施(担当課)(*3) ●学校関係者を対象とした資料活用の案内(図書館) ☆授業において新聞などの資料を使った学習を進めるため、市立図書館から情報の提供、支援をする(図書館)		
担当課及び施設	図書館・学校	関係課及び施設	文化スポーツ課・子育て支援課(保育園、幼稚園)・子育て総合センター・児童館・学童クラブ・健康推進課・障害福祉課・教育振興課・公民館・教育指導課

背景・経緯

- (*1) 読書離れが進むティーンズ、一人では来館できない乳幼児等の保護者に対し、市立図書館についてのPRを充実し利用の促進を図る。
- (*2) 「小・中学生アンケート」より、小学生については、「学校図書館で見つける」が一番多い。本を読むきっかけとして学校図書館が利用されているので、学校図書館のPRを充実することにより、学校図書館について地域の人にも理解を深め、子どもの読書活動につなげる。
- (*3) 子どもが主体的・積極的に市立図書館を利用できるよう、学校と連携して調べ学習を市立図書館で行うなど、市立図書館とその資料の利用指導を行っていく。

施策番号				
3				
基本 目標	I 本の楽しさを子どもたちに 一本に親しむ機会の充実		対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【2】普及活動			
施策	3 おはなし会の充実			
効果	子どもがおはなし会をとおして、本に興味を持つ。			
主な 取組	●おはなし会の継続と工夫、充実(担当課・関係課) ☆おはなし会について実態にあった持ち方をする(図書館)(*1) ☆関係課と連携し、配慮が必要な子どもへおはなし会を実施する(図書館・関係課)(*2) ☆おはなし会にボランティアを活用する(学校)(*3) ☆子どもたちによるおはなし会を実施する(図書館・学校)(*4) ☆子育て総合センターでのおはなし会を実施する(図書館・子育て支援課)(*5)			
担当課 及び 施設	図書館・子育て総合 センター・児童館・学 童クラブ・公民館・学 校	関係課 及び施設	子育て支援課(保育園、幼稚園)・障害福祉課・文化 スポーツ課・教育指導課	ボランティ ア

背景・経緯

- (*1)乳児向けおはなし会の積極的実施、幼児向けおはなし会の実施方法を検討する。
- (*2)関係課と連携し配慮が必要な子どもへのおはなし会を実施する。
- (*3)学校図書館において、読み聞かせ等でボランティアの活用をしていく。
- (*4)子ども同士の読み聞かせを実施することで、読書を身近に感じてもらう。
- (*5)家庭での読書を推進するために子育て総合センターでのおはなし会を実施する。

☆・・・一次計画を補う取組・新たに盛り込む取組

施策番号				
4				
基本 目標	I 本の楽しさを子どもたちに 一本に親しむ機会の充実ー		対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【2】普及活動			
施策	4 イベントの充実・体験の場の提供			
効果	子どもが、行事・イベントをとおして、本に興味をもつ。 子どもの読書に関わる人たちが、交流する。			
主な 取組	●読書に関するイベントの充実(担当課・関係課) ・読書週間の行事を実施する(担当課) ☆「子ども読書まつり」等のあり方を検討する(担当課)(*1) ●本に関わる活動の体験の場の提供(担当課)			
担当課 及び 施設	図書館・学校	関係課 及び施設	文化スポーツ課・子育て支援課(保育園、幼稚園)・ 児童青少年課・児童館・障害福祉課・教育振興課・公 民館・教育指導課	ボランティ ア

背景・経緯

- (*1) 普段、図書館利用や読書活動をしていない人へのきっかけ作りは必要である。異年齢、他団体との交流ができるイベントは実施していく。

施策番号				
5				
基本 目標	I 本の楽しさを子どもたちに 一本に親しむ機会の充実		対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【3】保護者への働きかけ			
施策	5 保護者への働きかけ			
効果	保護者が読書の楽しさを知る。			
主な 取組	●保護者への働きかけ(担当課・関係課)(*1) ☆両親学級(パパママ学級)⁹・絵本かたりかけ事業で働きかける(図書館・健康推進課)(*2) ・図書館の児童コーナーでの日常的フロアワークで伝達していく(図書館) ・保護者向け講座を開催する(図書館・公民館)			
担当課 及び 施設	図書館・学校	関係課 及び施設	子育て支援課(保育園、幼稚園)・児童館・学童クラブ・健康推進課・障害福祉課・教育振興課・公民館	ボランティア

背景・経緯

- (*1) 各種広報紙等での保護者への働きかけを継続して行っていく。
- (*2) 乳幼児時期からの豊かな言葉の獲得、読書活動の大切さを誕生前から伝え、その後の子どもの読書習慣の定着につなげていく。

⁹両親学級(パパママ学級)：

おもに初産の妊婦とその夫を対象に健康センターにおいて、先輩パパママ交流会、妊婦体験(父親)、栄養講話、歯科講話、助産師講話、沐浴実習他を行っている。

施策番号				
6				
基本 目標	Ⅱ いつでもどこでも本はともだち ー読書環境の整備と充実ー		対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【1】蔵書の充実			
施策	6 蔵書の充実			
効果	さまざまな関係施設の蔵書を充実することにより、子どもと子どもの読書に関わる大人が、調べ学習も含め多様な本と出合う。			
主な 取組	●各施設の蔵書の充実(担当課・関係課) ☆効果的な資料の収集に努める(図書館・学校)(*1) ☆関係課と連携して各施設の蔵書の充実を図る(図書館・関係課)(*2) ☆市立図書館と学校図書館及び学校図書館間の資料等の流通について工夫し、蔵書を効率的に活用する(図書館・学校・教育振興課)(*3)			
担当課 及び 施設	図書館・児童館・学 童クラブ・教育振興 課・学校	関係課 及び施設	文化スポーツ課・子育て支援課(保育園、幼稚園)・ 子育て総合センター・健康推進課・障害福祉課・公民 館・教育指導課	ボランティ ア

背景・経緯

- (*1) 蔵書の種類を増やし、要望に応える。配慮が必要な子どもに対し、点字絵本や布の絵本の作成、特大絵本や特大紙芝居等を継続して購入する。また、紙媒体の書籍では読書が難しい子どもに対し、電子媒体の書籍の導入を検討していくなど、蔵書の充実を図り、読書のよろこびを実感してもらう。
- (*2) 長期間入院している子どもがいる病院、特別支援学校、日本語を母語としない子どもが活用する施設、公民館、ゆうかり教室等へ図書館の蔵書を提供するなど、各施設の蔵書の充実を図る。
- (*3) 蔵書を効率的に活用するため、学校図書館間の資料等の流通について工夫する。

施策番号			
7			
基本 目標	Ⅱ いつでもどこでも本はともだち ー読書環境の整備と充実ー	対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【2】環境の充実		
施策	7 読書コーナーの設置・充実		
効果	子どもたちが、明るく楽しくまた来たいと思えるようなスペースで、本に親しむ。		
主な 取組	●読書コーナーの設置(図書館・関係課) ・配慮が必要な子どもに対して関係課と連携し、各施設に読書ができるコーナーの設置、居心地のよいスペースの工夫をする(図書館・関係課)(*1) ●各施設の読書コーナーの充実(担当課・関係課)		
担当課 及び 施設	図書館・子育て総合 センター・児童館・公 民館	関係課 及び施設	文化スポーツ課・子育て支援課(保育園、幼稚園)・教育指導課

背景・経緯

- (*1) 子どもが読みたい時にすぐ本を手にすることができるよう、子どもたちにとって身近な施設に、読書コーナーを設置することが必要である。

施策番号			
8			
基本 目標	Ⅱ いつでもどこでも本はともだち ー読書環境の整備と充実ー	対象	(3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【2】環境の充実		
施策	8 学校図書館の調べ学習・読書・おはなし会の環境整備		
効果	子どもたちが、居心地のよいスペースで、調べたり、読書やおはなしの世界を楽しむ。		
主な 取組	●明るく楽しい雰囲気にし、居心地のよいスペースにする(学校) ☆ESD(持続発展教育)¹⁰を進めやすいよう、学校図書館の資料の展示・配置など、環境の工夫・充実を行う(学校) ●今後建て替えがある場合、児童・生徒の良好な読書環境に努める(担当課)(*1)		
担当課 及び 施設	教育振興課・教育指 導課・学校	関係課 及び施設	

背景・経緯

(*1) 子どもたちが、落ち着いて読書に取り組めない状況も見受けられる。「小・中学生アンケート」からも学校図書館が本との出会いの場所となっているので、良好な読書環境に努める。

¹⁰ESD(持続発展教育: Education for Sustainable Development):

持続可能な社会の担い手に必要な知識・価値観・行動等を育成するための教育のことで、特に2つの視点が重要である。
一つは人格の発達や人間性の育成、もう一つは人・社会・自然という様々な他者との関係性を認識するとともに関わりとつながりを尊重できる人材の育成である。

施策番号			
9			
基本 目標	Ⅱ いつでもどこでも本はともだち ー読書環境の整備と充実ー	対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【3】人材の配置		
施策	9 児童サービス担当・ティーンズサービス担当の全館配置		
効果	子どもと、子どもの読書活動を推進する大人が、読書について相談し、個々の要望に合致したより有益な助言を得る。		
主な 取組	●児童サービス担当・ティーンズサービス担当の図書館全館配置(図書館) ☆児童サービス担当と別にティーンズサービス担当を配置し、より専門的な相談に応じる(図書館)(*1)		
担当課 及び 施設	図書館	関係課 及び施設	

背景・経緯

- (*1) 現在は子ども読書支援担当が児童サービス担当とティーンズサービス担当を兼ねて行っている。読書離れの進むティーンズに対してはより要望にあった支援をしていかねばならない。ティーンズの要望は多岐にわたり高度化するため、選書は専門的な知識が求められる。また、情報提供を行う場合も、興味や関心を引くようニーズの把握に努める必要がある。

施策番号			
10			
基本 目標	Ⅱ いつでもどこでも本はともだち ー読書環境の整備と充実ー	対象	(3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【3】人材の配置		
施策	10 学校図書館司書による読書活動の効果的推進		
効果	子どもたちが適切な助言・指導により各々の興味や関心に即した本に出合う。		
主な 取組	●読書が難しい子ども、読書意欲の高い子どもに対しても、学校図書館司書による個別の対応をしていく(担当課)(*1)		
担当課 及び 施設	教育指導課・学校	関係課 及び施設	

背景・経緯

- (*1) 子ども一人ひとりに対し読書を推進するためには、学校図書館司書が個別に対応できる環境を整える必要がある。

施策番号			
11			
基本 目標	Ⅲ みんなでつながり育てあう －人材の育成、関係機関等との協力・連携－	対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【1】人材の育成		
施策	11 職員の育成・研修体制の整備・情報交換		
効果	子どもがより質の高いサービスを受けるために、職員が研修や情報交換の場をとおして、専門性を高める。		
主な 取組	●児童サービス担当・ティーンズサービス担当の育成(図書館) ☆図書館職員が研修・講座に参加できる体制を整備する(図書館)(*1) ・専門的知識・技術を職員間で継承していく(図書館) ●学校図書館司書の研修体制の整備(学校・教育指導課) ☆学校図書館司書間の情報交換の場を充実する(学校・教育指導課)(*2)		
担当課 及び 施設	図書館・学校	関係課 及び施設	教育指導課

背景・経緯

- (*1) 児童サービス担当及びティーンズサービス担当は本に関するより専門的な知識や情報を持ち、経験を積むことが求められる。核となる職員を育成する。
- (*2) 学校図書館司書の研修の充実と、図書館司書間の問題点の共有の場をつくっていく。

施策番号				
12				
基本 目標	Ⅲ みんなでつながり育てあう －人材の育成、関係機関等との協力・連携－		対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【1】人材の育成			
施策	12 ボランティアの育成			
効果	子どもが読書の楽しさを受けとる機会を増やすために、ボランティアが研修・講座をとおり資質の向上を図り、子どもの読書活動の担い手となる。			
主な 取組	●子どもの読書に関わるボランティアのための講座の開催(図書館・関係課)(*1) ・関係課と連携しボランティアを養成する講座を開催する(図書館・関係課) ・ボランティアのスキルアップを図る(図書館・関係課)			
担当課 及び 施設	図書館	関係課 及び施設	公民館	ボランティ ア

背景・経緯

- (*1) 多くのボランティアが図書館内でのおはなし会や地域及び学校で活動している。読書活動や図書館利用がしにくい子どもや乳幼児の保護者への読書活動についても支援するため、ボランティアを育成する。

施策番号			
13			
基本 目標	Ⅲ みんなでつながり育てあう －人材の育成、関係機関等との協力・連携－	対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【2】関係機関等との連携		
施策	13 相互連携の継続		
効果	子どもがより広い情報・資料を得るために、職員がネットワークを通じて、より多くの情報を得て、子どもの読書活動に生かしていく。		
主な 取組	●図書館間の連携(図書館) ☆都立図書館等や他市区立図書館との連携、研修の参加や情報交換を行う(図書館) (*1)		
担当課 及び 施設	図書館	関係課 及び施設	

背景・経緯

- (*1) 自館だけでは解決が難しい課題についても、情報交換を行うことにより、読書活動に生かすことができる。

施策番号				
14				
基本 目標	Ⅲ みんなでつながり育てあう －人材の育成、関係機関等との協力・連携－		対象	(1)プレママパパ・乳児(2)幼児 (3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【2】関係機関等との連携			
施策	14 ネットワークづくり・人材と組織を結ぶコーディネート			
効果	子どもがさまざまな大人から読書を支えてもらうために、地域や子どもの読書活動に関わる人々がつながり、支援する。			
主な 取組	●市民・学校・庁内関係課との連携(図書館・関係課) ☆人材と組織を結ぶ役割を担う(図書館)(*1)(*2)			
担当課 及び 施設	図書館	関係課 及び施設	子育て支援課(保育園、幼稚園)・児童青少年課・健康推進課・障害福祉課・教育振興課・教育指導課・学校	ボランティア

背景・経緯

- (*1) 子どもの読書に関わる大人が連携し、情報の共有化を図る。また、読書ボランティアの希望施設への紹介、新規ボランティアの既存の団体への紹介により、子どもの読書への支援が広がる。
- (*2) 図書館から、私立保育園や幼稚園への働きかけが不十分だったので、取り組んでいく。

施策番号			
15			
基本 目標	Ⅲ みんなでつながり育てあう 一人材の育成、関係機関等との協力・連携－	対象	(3)小学生(4)ティーンズ (5)配慮が必要な子ども
区分	【2】関係機関等との連携		
施策	15 司書教諭等・学校図書館司書・担任との連携		
効果	子どもたちが、読書活動を広げることができるために、学校において司書教諭等・学校図書館司書・担任が連携を図る。		
主な 取組	●司書教諭等・学校図書館司書・担任の連携(担当課) ☆学校図書館の使い方・調べ学習の時の資料の使い方指導を担当と連携しカリキュラムに導入する(担当課) ☆個別な対応が必要な子どもに対し、担任と連携し子どもそれぞれの興味にあった本を紹介する(担当課・関係課)(※1)		
担当課 及び 施設	教育指導課・学校	関係課 及び施設	図書館

背景・経緯

- (※1) 担任と連携し、子ども一人ひとりの興味にあった本を紹介することにより、読書が難しい子どもも本に親しむことができる。